

2003年に設立し、主に製造業で人材派遣を行うヒューコムエンジニアリング(昭和町河西)。本社を昭和町河西に移転し、人材育成に力を入れる。ものづくりの現場では人手不足が課題で、出井智将社長(52)は「企業や社会の発展に貢献できるよ

ビジネスリーダーに聞く

う、質の高い人材を派遣していききたい」と話す。
 ー 業況は。
 「2020年東京五輪・パラリンピックの開催によって景気が良く、ものづくりの需要がここ数年で高まっている。一方、人手不足は深刻で、人材の取り

ヒューコムエンジニアリング(昭和) 出井智将社長



甲府一府一高卒業。2003年にヒューコムエンジニアリングを設立。52歳。

愛読書 労働法関係の書籍をよく読む
 趣味 20年以上続けているスキューバダイビング
 影響を受けた人 日総工産の清水竜一会長

実習に注力「人財」育成

合いが起きている。人工知能が社会の発展に貢献することを目指し、単純労働の分野での実用化が進められている。人工知能ではできないスキルやサービスの高さがより一層、求められる時代となり、質の高い人材の派遣が業界で求められている。経営方針は。

「ものづくりを支援すること」が不変の使命。製造現場を支援するものづくりと、「人財」を育成するものづくりを通じて、

「9月に本社を昭和町内に移転し、業界では県内で初めて技能実習が行える実技棟を設けた。実技棟にはホイスト機器を

「注力する取り組みは。」
 「現場で必要とされるクレームに資材を掛け外しする作業やクレーン操作の実習ができる。資格の取得によってやりがいを持って仕事に臨んでもらえるよう、実習に力を入れている。同月には国が定める「優良派遣事業者」に更新認定された。今後も信頼される事業者を目指していく」

「正社員と非正規労働者の不合理な待遇格差をなくす」同一労働同一賃金」が来年4月にスタートする。
 「制度への対応は難しく、業者間の競争はより激しくなることが予想される。制度に判例はなく、労働裁判になりやすいとも言える。内容を雇用者がしっかりと理解する必要がある。セミナーを開催するなどして、伝えていきたい。内容をきちんと説明し、丁寧にアドバイスしていく」

「働き方改革への対応は。」
 「仕事だけに専念するのではなく、休日大切にしたいと考えている。創業当初から休

転換点
 派遣会社で働いていた約20年前、業界団体に加盟した。それまでは隣業界全体で社会に貢献したいとは敵だ」との思いがあったが、先輩方の会社を見学させてもらったり、惜しみなく知識を教えてもらったりし、貴重な経験をさせてもらった。
 そこで、人や企業、社会に貢献することが大切との価値観を多くの人が持つていると気が付き、業界全体で社会に貢献したいと思った。
 法改正などで業界が大きく変化することも感じ取ることができ、人材派遣会社の設立を決意するきっかけになった。